

説教題:すべてを養う神

●み言葉

神はそれらを祝福して、
『生めよ。増えよ。海の水に満ちよ。鳥は地の上に増えよ』と仰せられた。

創世記1章22節

●み言葉の一滴

◎水に群がりうごめくすべての生き物を

第5日。神さまは神さまが創造された「水」と「空」に生きる生き物を創造されました。私たち人間はまだ創造されていません。やがて私たちが生きようになる「地」に対して、「水」すなわち「海」、そして「空」は私たちが生きることのできない場所でしょう。そこに神さまは生き物を創造されました。そして「埋めよ、増えよ」と祝福の言葉を語られます。海の魚も、空の鳥も、神さまによって創造され、神さまの祝福を受けています。

現在、海は、人類によって開発が進んでいます。しかしそれでもなお私たちにとっては神秘であり、ときに恐怖です。大きな震災を経験するごとに、海はさまざまな富をもたらしてくれると共に、恐怖であり続けます。私たちは、ほんの水溜りほどの水量であっても溺死してしまうことができるでしょう。海難事故は依然あとを絶ちません。深海の神秘、その暗やみ、そこにうごめくさまざまな生物は、私たちを恐れさせます。微小な生物から、巨大な生物まで私たちの想像を超えるいのちが生きています。海流に乗って、いのちが生れ育まれます。食物連鎖がいのちをつないでいます。

神さまはそのすべてを創造されたのだと聖書は語ります。そしてそれらに「埋めよ、増えよ」と祝福の言葉を語られました。海は私たちには神秘であり恐怖であるばかりでなく、神さまの祝福のみ手の中にしっかりと置かれているのです。

この水にうごめくすべてのものを創造し祝福されたお方は、二千年の昔、一人の人となってガリラヤ湖畔で語られました。「深みに漕ぎ出し、網を下ろして魚を捕りなさい」。不漁の後の大漁を経験したその漁師シモン・ペテロに「恐れることはない。今から後、あなたは人間を捕るようになるのです。」(ルカ5章4～10節)と語られます。

神さまは、水や海に生きる物を通していまも祝福を語っていて下さいます。

◎鳥は地の上、天の大空を飛べ

神さまは、水に群がりうごめくすべての生き物を創造された第5日に、地の上、天の大空を飛びかう鳥をまた創造されました。そして同じく「埋めよ。増えよ」と祝福の言葉を語られました。

空(そら)、天は、海と共にまた人類にとって神秘であり恐怖です。先日、江戸時代の鳥型飛行機の図面が見つかったとの報道がありました。空は憧れです。自由に空を飛ぶことができればとの思いは常に人の心にあったのでしょうか。しかし空は高度が高くなるとともにその危険性は増していきます。自らの体重で自らのいのちを落としてしまえるような高層ビルは800メートルを超え、さらには一千メートルを超えるビルも計画されているそうです。安全と言われつつも墜落事故の報道は、空が人類の手に完全に治められているのではないことを思い起させます。

この空を鳥は自由に飛んでいます。その翼のあるすべての鳥を神さまは創造されました。大空を見上げそこに天を思う私たちは、その大空を飛びかう鳥をみて、自由を思い、希望を思います。神さまの雄大なおこころを思います。

翼のある鳥を創造され祝福されたお方は、二千年の昔、自分に従う弟子たちに語られました。「空の鳥を見なさい。・・・あなたがたの天の父は養っていてくださいます。」「何を食べようか。何を飲もうか。何を着ようかと言って、心配しなくてよいのです。」「(マタイ6章26～31節)。

また言われました。「二羽のスズメは一アサリオンで売られているではありませんか。そんな雀の一羽でさえ、あなたがたの父の許しなしに地に落ちることはありません。・・・ですから恐れてはいけません」(マタイ10章29～31節)。

神さまは、空を飛ぶ鳥を通していまも祝福を語っていて下さいます。

「私の生まれ故郷カタルーニャの鳥は peace、peace と鳴くのです」(パブロ・カザルス、チェロ奏者)

●祈り

- ・ 海を、そして空を、そこにうごめき飛びかう生き物をご支配されて、祝福されている神さまを信頼します。
- ・ 日々、良きものを備え養い育ててくださるイエスさまと共に歩む者とならせて下さい。